

# そよかぜ 3月園便り

令和5年3月1日(水)

西東京市立そよかぜ保育園

暖かい日も増えて、いこいの森の河津桜も満開を迎えているとのこと。(私はまだ行っていませんので、散歩に出かけた子どもたちから教えてもらっています)春は確実にそこまでやって来ていますね。

先日餅つきをしました。おひな様にお供えする「ひし餅」と「ひなあられ」を作るのです。最初は白いお餅、二臼目は桃色のお餅、三臼目は草色のお餅。つきあがったお餅を臼から取り出すと「わー」と歓声が上がります。そして「のしもち」にする様子を見学し、ちょっとずつお味見。つきたてのお餅はなんて美味しいんでしょう。

その後「のしもち」を乾かして「ひし餅」の形に切って、おひな様にお供えしました。細かく切った餅は網に入れて乾燥中。良い頃合いになったら、あられ炒りをします。できたあられはおひな様にお供えして、私たちもひな祭りの日にいただきます。

子どもたちはもち米を蒸かすところから興味津々で見えています。せいろから湯気が立ち昇り、釜戸からはパチパチと薪が燃える音が聞こえてくる…何ができるんだろう?と見ているとせいろの蓋を開け、大人がもち米の蒸かし具合を確認します。小さいクラスはまだお餅が食べられないので蒸かしたもち米を試食。甘くて美味しいのが分かるようで、皆目尻が下がっています。

そう言えば「味噌作り」の時も、子どもたちは前日に洗って水につけておいた大豆を釜戸にかけた羽釜でグツグツ煮る行程を、それはそれは真剣に見ていたな…

そして餡色になった大豆の煮汁を皆で飲んでみた時「美味しい〜」「もっとちょうだい」という子がたくさんいました。素材そのものの美味しさが分かるんだなとこの時も思いました。

もち米を蒸かすには釜戸に薪を絶え間なくくべてゴンゴン燃やすけど、豆を煮るには吹きこぼれないように火加減を調整しながら薪をくべる。これって結構大変なのですよ。

今は火周りのことは大人が担っていますが、いつかこんなことも子どもたちが自分で体験して、「薪の量はこれくらいかな」「燃えやすくするにはどんなふうに薪を重ねるといいんだろう」なんて考えながらもち米を蒸かしたり豆を煮たりできたらいいなあと思っています。

見て・聞いて・匂って・触れて・味わって。五感全てで感じる経験をこの幼児期にどれだけ積み重ねられるか、私たちの課題でもあります。

年長さんはいよいよ卒園の時を迎えますが、先月の園だよりでも触れたように、そよかぜでの様々な経験がこの先何か壁にぶつかったり、選択をせねばならない時の道標になってくれることを願っています。

年長さん以外の子どもたちも今のクラスで過ごすのはあと1ヶ月。

五感で春を感じながら、進級に向けて思う存分遊んでいきましょう!

## クラス通信

だんだんと暖かい日もあり、たんぽぽを見つけて春の訪れを感じます。

「♪たんぽぽひらいた～まっきいろにひらいた～」と歌うと、膝をちょこんと曲げながら歩く姿が何ともかわいいです。リズム遊びが大好きで、うさぎ・うま・めだか・とんぼ…など子ども達が“これやりたい！”と身振りでアピールしたり、指を一本立てて“もう一回！”と繰り返し楽しんでいます。

入園当初小さかった子どもたちが一つずつ出来ることが増えてきて、「こんなこともできるようになったね」と子どもたちの成長に喜びを感じています。



すずめさんと一緒に過ごすことが増え、お兄さんお姉さんの遊び方を見ては憧れを抱きつつ、真似っこして遊ぶようになりました。園庭でも同じ姿が見られ、三輪車を引っ張ってきて動かしたり、またがって足で蹴って進んでいくうちに満足しています。

2月の後半には餅つき会があり、大人がついている姿を見て“何だろう？”と興味津々。大人が「よいしょ～」と言っていると、一緒に「よいしょ～！」と応援していましたよ。白いお餅だけでなく、色がついてピンク色に変化していく様子を観察した後、せいろで蒸かしたもち米をお味見。「おいしい」「もっとちょうだい」とおかわりが欲しいぐらい美味しくご満悦でした。

今月は、靴を履き散歩先まで歩く機会も作っていきます！



散歩へ出掛けると梅の花が咲いていたり、戸外の気温が高くなってきたりと、春を感じるが増えてきました。そんな中、先月は雪が降り、子どもたちは大喜びですが、あまりの寒さに一歩テラスに出た時に吹いた北風に「寒い！」と室内へ引き返したり。それでも雪に触れ冷たさを実感したり、大人との雪合戦を始める子もいて、小さな雪玉を作っては「えいっ」と投げて楽しく遊んでいましたよ。

雪遊びをした後は、暖かい部屋で大人と触れあいながら過ごしましたよ。一日だけでしたが、季節の遊びを楽しむことができ嬉しそうな子どもたちでした。

今月は春の訪れをより戸外で感じながら、元気に走り回って遊んでいきます。



先月ついに、待ちに待った雪が積もり、念願の“雪遊び”が出来ました。雪が降っている中、元気に園庭に出る子どもたち。新雪に足を踏み入ると「ふわふわしている。」とどンドン歩いていましたよ。そして自然に始まった雪合戦。まるめては投げ、大人に当てる…。大人も負けじと投げ返すと「きゃー、冷たい」と言って逃げ出して…その繰り返しですごく盛り上がりました。午後も遊びたい！！とのことで、日中、レジャーシートの上に降り積もった雪をテラスに持ってきて、大きな雪だるまを作りましたよ。

散歩に出かけると、あちこちに春の訪れが見られるようになりましたね。梅の花がきれい咲いていて、鼻を近づけて匂いを嗅ぎ、「ん～、いい匂い。春の匂い。」と言っていましたよ。これからは春探しのお散歩を満喫していきます！！





日に日に寒さも和らいで、春の温かさを感じられる様になりましたね。  
園庭へ出て、散歩先に着いて、まずはマラソンをして身体をポカポカに！走っていると「暑い」と言って段々と上着を脱いで走っています。公園でたくさん遊んだ後、園へ帰る前にジャングルジム公園近くの池を見に行くのを楽しみにしているつばめ組。寒い日にはカチコチに池が凍っていて、木の棒でつんつん！落さない様に気を付けながら氷を取って観察していましたが、分厚かった氷も段々と薄い氷になっていき、とうとう「今日氷になってないね～」となってきました。また「オオイヌノフグリあったよ～」とたくさん春の知らせを見つけています。  
今月は遠足もあります。暖かい戸外でのお弁当が楽しみです！



毎日元気いっぱいのはやぶさ組。  
戸外ではドッジボール、リレー、増え鬼、缶蹴り…と皆で相談しながら遊ぶことも増えて、複雑なルールの遊びでもお友達と**団結**して楽しく遊ぶ姿が見られるようになりました。特にドッジボールでは、ボールの球威も早くなり、当てることができた嬉しさもありますが、キャッチできた喜びも大きく、仲間がボールをキャッチするとみんな大盛り上がりです。  
そよかぜ保育園で過ごすのもあと1ヶ月となりました。小学校への期待いっぱいですが、思う存分たくさん遊んで笑顔いっぱい過ごしていきます！

<https://soyokaze-hoikuen.net/>



園行事の様子は HP 内 Blog を  
ご覧ください。

## 3月 園行事

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 2日 (金) ひな祭り会     | 17日 (金) 5オクラス懇談会  |
| 6日 (月) 年長 藤井先生交流 | 22日 (水) 4.5才お別れ遠足 |
| 7日 (火) 3オクラス懇談会  | 23日 (木) 誕生会／避難訓練  |
| 11日 (土) 卒園式      | 24日 (金) 卒園を祝う会    |
| 13日 (月) 0オクラス懇談会 | 30日 (木) 幼児クラス移動   |
| 15日 (水) 布団乾燥     | 31日 (金) 乳児クラス移動   |
| 4オクラス懇談会         |                   |

野のはてに 夕日が沈み あかねの光 空に広がる  
 モンゴルの草原に 夜が近づく  
 スーホの手に 白い馬 生まれたての 小さい命  
 そのいのち かかえ持ち スーホは帰る 祖母の待つ家  
 スーホの白い馬 より 丸山亜季作曲

卒園期を迎えた子どもたちの歌声は一段と軽やかに、誇らしげに響いてくる。  
 草原を駆ける馬をイメージしながら歌う姿がそこにある。  
 瞬く間に覚え、歌い始める子ども達。音楽の世界の豊かな広がりを見せてくれている。

歌は目に見えるものではない。その瞬間に響き合い消えていく。だから素晴らしい。響き合い重なり  
 合って一層楽しく、歌う喜びが増してくる。

散歩、鬼ごっこ、かけっこ、砂・泥んこあそび 縄とび等々登ったり、下りたり、くぐったり、跨い  
 だり様々に身体を使って出来る喜びをつみ重ねた子どもたちの成長のあかしともいえるだろう。

♪ たんぽぽ ひーらいた ♪

大人の歌に合わせ、「・・・ぽ！・・・た」とフレーズに合わせ身体を動かし歌っていた春。行くたび  
 の春を重ね、全身を集中させ、模倣し、覚えていく。人間の祖先は立ちたいから立って行動したのだろ  
 う。同時に歌いたいからうたう事を始めたのだらう。その人類の歩みをなぞるように、リズムに合わせ、  
 踊り歌う。子どもは歌いたくて全身で模倣し、たくさんの歌を覚え、歌っていく。その吸収力には目  
 を見張るものがある。子どもは自分を育ててくれるもの、力をつけてくれるものを本能的に見分け、感  
 覚的に取り込む。それは良く遊び、よく歌い、良く食べ、良く寝ることである。

身体の成長と共に感性も知性も育っていることを教えてくれる。

#### 職員のつぶやき

私は去年3月に北海道から西東京市に来て、みどり保育園の職員として働かせていただいております。  
 保育士1年目、子どもたちの溢れる「意欲」に刺激をうける毎日です。

特に新しいもの事を吸収していくスピードには圧倒されます。園では給食にお魚が出る事が多く、  
 「キンメダイ」「サバ」「サワラ」「タチウオ」「メヒカリ」「ワカサギ」とバラエティ豊か。子どもたちは  
 自然とこの多種多様な魚の名前を覚えて「今日のは、虎っぽいもようだから、サバじゃん？」などと話し  
 ています。

私も北海道で海産物店の手伝いをしていた事もあり、北とは微妙に違う顔ぶれに新鮮さを感じながら  
 食べています。園で子どもたちとお魚に触れる事が多いからか、家でも魚を食べる事が増えました。近所  
 のお魚屋さんで、店員さんと会話しながら買い物するのが最近の密かな楽しみです。

先日、店先に「ニシン」を見つけて嬉しくなり、「これ、どこで獲れたニシンですか？」と分かっ  
 ているのに聞いてしまいました。もちろん「北海道」ですが、「お前も北海道から遥々ここまで来たんだ  
 なあ」とニシンの顔を見てなんだか親近感が湧いてしまいました。

北を懐かしみつつ、私も子どもたちに負けないくらい新しいことをぐんぐん吸収していきたいと思  
 います。

みどり保育園 大城 温子